

『五久会』だより

2005・7 創刊号発行

☆会長挨拶



浅野 基正 会長

謹んで書面にてご挨拶いたします。皆様方には毎日お元気でお過ごしのことと拝察いたします。前回町議選の際には深いご理解とご厚情により、最高の結果で初当選をはたすことができました。特令によって引きつづき甲斐市議会議員としての場を今現在あたえて下さいました事に對し、会として衷心より深く御礼申し上げます。

その後、内藤ひさとし後援会を政治団体として町議選以来現状維持で参りましたが、県選管への去る三月末現在の状況報告の中において、今回新しく五久会（ゴキウカイ）として、後援会の名称変更をいたしましたのでご報告させていただきます。さて、五久会の名称の由来でございますが、内藤市議の住居地の旧敷島町さつき野区の五月（サツキ）をもとに五といたし、久は本人の名前の一字を以て五久（ゴキウ）といたしました。そして市議のスローガンであります五つの公約を五久会の中に位置づけました。以下に五つのスローガンを列記いたします。

- (1) スポーツ少年団の二十五年度の指導経験を生かしスポーツや地域活動を通じて未来をたくす青少年の健全育成を図る。
 - (2) 若者の安定した雇用を創出する。
 - (3) 健康な高齢者を作る活動を推進する。
 - (4) みどり豊かな甲斐市を守る環境問題に取り組む。
 - (5) 竜王駅北部開発を早期実現させる。
- 以上が五久の内容であります。また、将来に向けての準備であります。今後五久会のさらなる充実を図ると共に、皆様方の応援のもと、会の向上と躍進のいしづえを築き上げてゆきたいと考えております。何卒今後共よろしくご指導・ご鞭撻を心よりお願い致し、併せまして皆様方のご健康をお祈り申し上げます。

議会報告

甲斐市議会議員 内藤 久歳



◆市政における三項目について問う

水と緑の町竜王町、緑とやすらぎの町敷島町、緑とふれ合いの町双葉町。それぞれの町が長年にわたり、培い育んできた、歴史・文化・風土を礎として、県内第二の人口を有する甲斐市が平成十六年九月一日に誕生し、その行く末を託す、初代のリーダーとして藤巻市長が選出されました。本定例会において市政全般についての市長説明がありましたが、新市のまちづくりの基本理念である緑と活力あふれる生活快適都市を実現するための六つの重点項目が掲げられました。これらの施策の内容をみますと、充実した内容の施策であると思います。地方自治の原点は住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を、自主的かつ総合的に実施する役割を担うことです。平成十七年度の諸事業の執行にあたり、議会として透明性・公平性・正確性を見極めなければなりません。藤巻市長の経験と英知を結集し全職員とともに総力を上げて市民の誰もが納得できる市政運営を期待致します。

☆質問一、市道開発一号線整備計画について質問致します。

市道開発一号線の整備計画は旧敷島町の都市計画マスタープランの中期計画に於いて計画されておりますが、竜王駅周辺整備事業との融合性を図るなかで、本路線の甲斐市における今後の整備計画の方針について市長のお考えを伺います。

★藤巻市長答弁

現在県道田富敷島線を「都市計画街路田富町敷島線中下条工区」として県が実施主体となり整備を行なっております。この工区については、平成十六年度に全ての用地契約が終わり、順次工事が進められており、市道については、約四十メートルの区間をその事業の中で整備することになっております。質問の市道開発一号線の整備についてはありますが、近年の周辺環境及び周辺道路の急激な変化に伴い交通量が大きく増えており、現在二車線で歩道も設置されておりますが、絶対的な交通量に道路規格が不足気味となっておりまして、新市建設計画では計画的な幹線道路網の整備を推進していくとありますが、整備手法としては国庫補助事業を取り入れた中での整備を基本と考えておりますので、甲斐市独自の整備プログラムを作成する必要があります。しかし、その整備プログラムの作成には相当の時間とコストがかかりますので現段階では山梨県が作成している地域道路整備プログラムに加わり、補助事業の採択が可能な手法として鋭意努力すると共に、現在県で行なっております、中下条工区による市道分の整備が進められているこの時期を好機と捉え、整備を進める方向で検討していきたいと考えております。

☆質問二、小中学校の散水設備の設置について

甲斐市の小中学校の散水設備の未設置校は八校であります。児童・生徒が安心して運動や遊びができる環境作りに散水設備がその一翼担っているのではないのでしょうか。さらに強風下での近隣住民への影響は多大なものがあります。風の強い日には校庭の砂塵により洗濯物は、室内に干さなければなりませんし、夏には窓も開けていられない状況です。これらのことを考えますと早急に校庭への散水設備が必要かと思いますが教育長のお考えを伺います。

★教育長答弁

小中学校十六校の施設整備については、各地区毎に懸案とされる施設整備事業計画の中で甲斐市に引き継がれているので、現段階ではこの計画に基づき事業を進めていく予定です。小中学校の散水設備の整備については引き継がれている事業との優先度等を検討する中で、今後の主要事業計画への位置づけをしていきたいと考えています。

☆質問三、生涯スポーツの実現に向けた「甲斐市スポーツ振興計画」の策定及び「総合型地域スポーツクラブ」の設立について

旧敷島町では生涯スポーツの実現に向けたスポーツ環境の整備と醸成のために、平成十三年より「みんなのスポーツ広場」プチスポーツとして一人一スポーツを推進してまいりました。甲斐市においても地域住民の健康増進につながる生涯スポーツ社会に市民の誰もがそれぞれの体力や年齢・技術・興味・目的に応じて、どこでもいつでもスポーツに親しむことが出来るよう実現に向けた、甲斐市スポーツ振興計画の策定が必要ではないかと思っております。次に総合型地域スポーツクラブの設立についてであります。総合型地域スポーツクラブでは国及び県のスポーツ振興計画により、平成二十二年度を目標に総合型地域スポーツクラブの育成が掲げられております。甲斐市においても活力あふれる生活快適都市を構築するには、市民の健康増進の施策が不可欠であると思っております。振興計画の策定と甲斐市総合型スポーツクラブの設置計画について具体的な進捗状況をお聞かせします。

★教育長答弁

甲斐市スポーツ振興計画の策定ですが、旧三町においても地域に合ったスポーツ振興計画を策定し事業を実施してきました。甲斐市となりました十七年度についても継続しながら「市民一人一スポーツ」を目標に、甲斐市スポーツ振興計画の策定に取り組んでいきたいと思っております。総合型地域スポーツクラブについては、体育協会など長年にわたって活動を続けてきた既存のスポーツ団体のご意見を伺いながら、今後調査・研究をしていきたいと思っております。



★五久会とは★

五久会 幹事長 山本 幸作



バブルの崩壊によってわが国の経済の基盤を支える消費者・生活者の環境や考え方が従前とは著しく変化中、21世紀を迎え『物から心の豊かさへ』『物的社会から情報化社会へ』の志向が益々加速しつつある時代になりました。このような背景を受け止め、私どもは内藤ひさとしの知識・見識・行動力を共有する有志として相集い、五久会としての情報を交換し、相乗効果を高め、地域のお役に立ちたいとの願いから、相互のスキルアップを目指し、平成十六年に『五久会』を創設しました。そして、私どもの趣意に賛同される甲斐市民の皆様が、今後気軽に参加することができる政経勉強会を毎月定期的に開催することを目的とした、新たな『五久会』を発足いたしました。

この『五久会』は、旧敷島町さつき野（五月）、内藤久歳（久）それに五つの公約とそれぞれの（五）（久）を取り入れて命名しました。それ以来、地域社会の方々と相互に交流を重ね合い創造的な知識・見識を共有することを目的に研鑽を重ねてまいりました。また、この先市民の皆様方に審判を仰ぐ時が来ると思いますが「雌伏雄飛」会員一丸となり頑張る所存であります。私ども五久会は『不易流行』（不易とは原理原則であり、流行とはその時代の流れをよく知りそれに適応してゆく意）をモットーとし、定例の勉強会の終了後に会員相互の意見交換の場として懇親会を開いております。この会は、本音で地域のこと喜びや苦勞を語り合える場として会員の皆様にご好評をいただいております。今回、五久会だより発刊に当たり、会員の一層の充実を図りたく、私どもの趣意に賛同いただける甲斐市民の皆様方を会員としてひろく募集致しております。貴台はじめ関係各位のご入会を心よりお待ちしております。

アットホームな
仲間達です。
明るく元気に
暮らせる
《甲斐市》を
皆で目指そう！



内藤議員は名サッカープレイヤー



みんなが主役！
老いも若きも、男性も女性も。

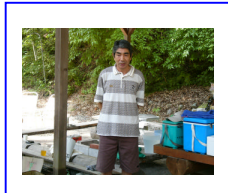
6月の勉強会は野外でバーベキュー！



内藤ひさとし議員夫妻(仲良し～！)



内藤議員と『五久会』の仲間



浅野会長夫妻
(いい感じ！)



奥様は、六本木ヒルズと旅行が大好き！



食欲旺盛！元気元気！



夫婦で散歩もしています！

平林会計夫妻
(親指が何か？)

～内藤ひさとし議員より一言～



梅雨のうつろいしさの中でも、紫陽花の凛とした美しさに心洗われるこの頃ですが、皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。私も、毎日元気に議会活動や地区での活動を続けております。

さて、このたび、私、内藤ひさとしの後援会として、皆様のご支援の下、新たに『五久会』を発足し、活動をスタート致しました。この会は、単に私の政治活動を目的とするものではなく、甲斐市民としての我々が、家族そろって健康で明るく安全に暮らせるための、仲間作りだと考えております。一人の力ではできないことも、多くの力が集まればより良い結果が得られることがあります。“IT化時代を担う若者から、高齢化社会の主力であるお年寄りまで、明るく笑顔で暮らせる社会を作りたい……” そんな基本的な目標から生まれたこの『五久会』は、《みんなが主役》を合言葉に、子供・若者・女性・男性・熟年……すべての人の意見が集まる場でありたいと思い、私もその一員であると考えています。

私は、皆さんの代表としての場を与えていただいたことに感謝し、その責任の重さをしっかりと受けとめ、今後の活動に邁進していきたいと思っております。今回『五久会だより』発行にあたり、今、新たに力がみなぎってくるのを感じております。

※何か、かっこいいことを申しましたが、皆さんと一緒に、私も議員として成長していきたいと思う、今日この頃なのです。



《五久会からお知らせ》



★8月の勉強会について

日時：7月31日(日)PM5:00より

於：内藤ひさとし議員自宅(女性・若者の出席歓迎！)

テーマ「山梨県の中での甲斐市のあり方」について

※通常は毎月第1日曜日の午後5:00より月例勉強会を実施しています。

☆尚、勉強会へ出席ご希望の方はお手数ですが、事前に下記事務局までご連絡下さい。

お待ちしております！

EDITOR'S NOTE(編集後記)…五久会だより編集委員会・平林弘光



New Mission 内藤ひさとしの新しい使命。 「私たちは立ち上がりました。」

内藤ひさとし氏の甲斐市政に対する『燃える心』をこの紙面でどう表現し、甲斐市民の皆様伝えていけるか、工夫しましたが、不行き届きの点は、初版ということでお許しください。この『五久会だより』は今後、年間3回の発行を予定しています。次号からは、市議会の報告は立派な議会便りがその都度発行されていますので、そちらに譲りたいと考えています。また現在実施している毎月第一日曜日の内藤ひさとし宅での勉強会を、ゆくゆくは「市政談話室」に発展させて、市民の皆様のご意見を、甲斐市政に反映できる『五久会だより』にしていく予定であります。皆様のご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者 浅野益正（五久会会長）

編集・発行 内藤ひさとし後援会事務所 甲斐市中下条 217-9 (TEL) 055-277-8001